

令和3年7月吉日

カスタマー様

ケキテック株式会社

金子 幸嗣



「Sei IIセット」 発売のお知らせ

1、経緯 史上最強のシングル回転ポリッシャMa iを2000年1月に発売してから、同年3月31日、自動車メーカーの検査ライン、製造技術のご担当者様より株式会社スズキ様を通じて開発依頼を受け、充電式ミニポリッシャの開発を始めました。その後、3年掛けて、完成したSei（セイ）の販売は、2003年6月～同年10月まで合計60台ほどで販売を中止・終了にしました。理由は、ベースになっていたインパクトドライバーに、動力としては非力な上、継続的使用に耐えない¹ニッケル水素電池を利用しており、リチウムイオン電池への仕様変更が期待できなかったからです。更に、エアーに動力を託した、Sei Aは2009年の8月から販売を始めました。

これらのポリッシャの設計目標は、唯一つ、**史上最強のトルク**でした。ポリッシャの強力なトルクはバフとコンパウンドとの潜在的研磨力を最大限引き出すからです。

充電式ミニポリッシャの設計思想は、おそらく、リョービ株式会社様（現、京セラインダストリアルツールズ株式会社様）においても、開発陣の世代交代に関わらず、受け継がれたと思量いたします。今回、DPE11XRは、モーターとリチウムイオン電池に劇的進化を遂げ、強力なトルクと実用に十分耐える連続使用時間に適した充電時間を手に入れました。弊社では、これをベースに用い、同モデルの唯一の欠点と考えられる、動力の効率の良い伝達の仕方と高トルクのために犠牲になってしまうコントロール性とを、横型ポリッシャのコントロールに必要な運動反力を分析することで、パッドの他にグリップ（特許出願）と構造物を避けて研磨することを目的とした延長シャフトと保護カバー（特許出願）とを用いることで、18年の月日を待って、ほぼMa iの研磨力と自在性をミニポリッシャでほぼ実現するSei IIの発売に至りました。

¹ ニッケル水素電池はメモリー効果（最後まで使い切ることなく充電してしまうと、電池の容量が減少してしまう現象）によって、使用できる時間が減ってしまうため。リチウムイオン電池にはそれが無い、上、Sei IIは電圧が18Vのため、パワーが強力。

2、発売の趣旨（Sei IIの出来ること）など

1) Maiを小さくすると同様な研磨力を備えること。

①肌が良い場合のブツ取りのためのペーパー目消し　ブツ取りのために当てたペーパー目は出来るだけ少ない面積で研磨した方が良い。研磨力が著しく良好なため、ペーパー目消しも、番手を上げて磨く面積をわざわざ広げる必要性がなくなります。

②Maiを用いては磨きにくい細部など

延長シャフトによって更に、自在に磨ける場所が増えます（それでも、バフが入らない個所は、研磨用「磨クロス²」、同時発売を利用してください。）。

③磨き残しや、研磨後の数本の噛み込んだバフの傷などの補修研磨に

ペーパー目の磨き残しや当て忘れ、研磨作業で消えなかった傷などをその部分のみ研磨してください。

バフが小さいので、いたずらに研磨すべき面積を広げません。

④Maiでは、場所によって使用に技術を要した肌調整用バフ（スムーズメイン）の代わりに同時発売のミニ版が自在に利用できる。　ペーパー目の肌理化した傷、エッジやR・逆R部の肌調整研磨に、同時、新発売のディンプリングスムーズミニ³の能力を十分に余すところなく、発揮できます。

⑤ディテリング業における研磨方法にマッチする。　ToiZ+シフォンS+1stNBを1工程とする研磨方法において、この工程で取れなかった傷を消すためにSei IIを利用すると、研磨する面積が極めて小さくて済むので、より、作業が速くなります（トルクが大きいためシングル使う技術が必要）。

2) Sei Aの2400回転／分の回転数に慣れない人のために

Sei Aでは2400回転／分が最高速で、スロットルレバーで回転数を調整しますが、0～2400回転までの幅が広すぎるため、微妙な回転数の調整が困難な場合があります。　スピコンでエアの流量を絞る方法もありますが、トルクが下がって十分な研磨力を発揮できない場合があります。

Sei IIでは回転数を側面のモード切替ボタンで3段階に変更出来、最低速は1600回転／分の上、トルクは変わりません。バンパーなどの剥がしやすいう場所の研磨も、最低速を利用することで、容易に行うことができます。

² 手磨き用クロス、細目のコンパウンドと組み合わせて、手と磨クロスで、2：1の対スリのクリヤに当てた#800のペーパー目を消す。

³ ディンプリングスムーズメインはMai用に開発された、肌調整用バフでデニム素材の糸を工夫（特許出願）して製造されています。主として、0Ⅲと組み合わせて、使用しますが、Maiのトルクが強力なため、R・逆R部やエッジ部、突起物のある周辺部などを研磨する場合に、「塗膜を剥がしそうで怖い」と言われて来ました。今回、バフの表面積を1／2とし、Sei IIに同様のトルクを与えることで、Maiとほぼ同じ肌調整力を容易に実現しました。

3、Sei IIセット内容

「Sei IIセット」は、「1）にリチウム電池パック2個と充電器を含めたもの～5）までを組み合わせた」ものを言います。

「Sei II用付属品セット」は「2）～5）までの組み合わせ」を言います。

1) Sei II本体 (DPE11XRベース)



2) デンプリングミニパッド75N (5/16) (Sei Aと共通)



3) Ωグリップ (Sei A、M10のハンドル穴径のその他のポリッシャに使用可能) (特許出願中)



4) 延長シャフト100・30⁴と延長シャフトカバー100³・30³ (特許出願) (S e i Aその他の 5/16の穴径のスピンドルを持つ回転ポリッシャに使用可能) (特許出願中) 10 cmと3 cm、13 cm延長できる。



5) スピンドルシャフトカバー⁵ (S e i Aに使用可能) (特許出願中)



⁴ 延長シャフトは設置された外装部品により陰になる箇所が存在する被研磨面の研磨作業時に障害物をかわす目的でスピンドルシャフトに接続させて、バフ面を延長させるもの。10 cmと3 cmがあり、13 cmまで延長できます。

⁵ スピンドルシャフトカバーと延長シャフトカバーは、設置された外装部品により陰になる箇所が存在する被研磨面の研磨作業時に、回転シャフトとの接触により発生する外装部品の損傷を防ぐことのできるものです。

6) 新発売記念 サンプルセット

- ①ディンプリングススムースミニ² (肌調整用ミニバフ) (特許出願中) 1枚



- ②ディンプリングスノウミニⅡ (特許出願中) 1枚

- ③ディンプリングシフォンミニ 1枚

- ④Bodycom OⅢ BLack 50cc

- ⑤Bodycom 1st NeoBLack 50cc

- ⑥手磨き用クロス 「磨クロス」 20cm x 20cm 2枚

- ⑦手磨き用シフォンミニのフェース部 (ご購入は通常のシフォンSまたはディンプリングシフォンミニを使用してください。) 1枚

4、発売日

8月

以上宜しくお願い致します。